



高齢化率 42%の小さな集落でありながら商店と郵便局が存在し、何より約40年前、部落民が協同で労力を提供し創り上げた公民館が守られていることは向原北の財産。2回とも13世帯から13人の参加がありました。いま「集落」が「集楽」に変わろうとしております。

■おらだの公民館を集落の茶の間に！

- ・閉じこもりがちになっている方もいるのでサロンをこの集落でもできないか。
⇒体が不自由な方でも参加できるよう集まりの方法を検討する。
⇒4月に公民館で花見をしてみる。みんなで桜の花びらを塩漬けし「桜茶」をつくる。

■若い人達に、いきいきと暮らしている姿を魅せていく

- ・集落の高齢化率は42%強であるが少子高齢化を問題視すること自体が問題。
⇒集落の人たち（高齢者）が明るく楽しめる企画を創出する。
⇒子供たちのUターンを意識した地域資源の掘り起こしをする。

■趣味や特技を生かし、希望をもって生きる

- ・冬場は特に、お茶のみに出歩くこともないのが現状。
⇒しめ縄づくりなど高齢者ができる手仕事を再現する。
⇒グラウンドゴルフが得意な人から指導を受け、みんなでチャレンジしてみる。
⇒和裁の名人に着物のリフォームをお願いしてみる。